

第2回今治市総合戦略推進会議 会議録

- 1 日 時 令和6年11月14日（木）10時00分～12時00分
- 2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室1・2号
- 3 内 容
- 1 開会
 - 2 議事
 - （1）第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂について
 - （2）第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂について
 - （3）次期今治市総合戦略の策定について
 - 3 閉会
- 4 出席者 <今治市総合戦略推進会議 委員>※五十音順
青木 誠 赤瀬 祐三 池田 忠 宇佐美 浩子 大石 一浩
大成 経凡 小池 由貴 瀬野 哲郎 高橋 典子 田窪 良子
二宮 敏 西原 博史 松下 隆 村上 亜耶 村上 あらし
吉田 和史 ※欠席者4名
- <事務局>
企画政策局長（市民が真ん中課）馬越課長、尾崎課長補佐、安部主事
- <議事担当課>
関係課職員

議事（1） 第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂について	
産業振興課	【資料1】P13, 14 基本目標1「だれもがこの地で元気に働けるふるさとを創る」の「(イ) 海事とタオルのまちづくり」、「②今治海事都市構想の推進」の具体的な事業の修正について 説明
地域振興課	【資料1】P67, 68 基本目標4「中心部と周辺部が連携した「選ばれるまち」いまばりを創る」の「(イ) 島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり」、「①住民主導の地域づくり」の具体的な事業の修正について 説明
事務局	【資料1】P73 推進組織及び検証体制の変更について 説明
委員	フェリーで大阪から東予港に来られるサイクリストも多いが、東予港から今治市まで少し遠く、アクセスも良くない。オレンジフェリーが今治港に来る可能性はあるか、またそういった想定はあるか。
産業振興課	喫水の問題もあり、巡航ができないため、現実的には難しい。
委員	1万トン以上のクルーズ船を接岸できる港の整備というのは、具体的にどういった改修をするのか決まっているのか。
産業振興課	今後検討していくこととしている。
委員	事業者から20億円寄付をいただくというインパクトの大きい情報をニュースで拝見した。MICE機能をもつ会場について、具体的にどこに設置するかなど想定はあるのか。
産業振興課	海事都市交流委員会から要望があり、賛同する企業の皆様から、20億円の寄付をいただいた。場所については、海事都市交流委員会から、今治駅から今治港までのまちなかで想定してほしいという申し出はあるが、場所や規模などは今後検討していく。
委員	今後の要望ではあるが、港にクルーズ船が来るのであれば、商店街をもっと賑やかにするような施策も考えてほしい。 またしまなみ海道通行料の無料化は今後10年を目途に目指していくという理解で良いか。

地 域 振 興 課	しまなみ海道通行料の料金そのものについては、国の水準に合わせていただいております、10 年後以降も引き続きそういった形で全国水準まで引き下げていただくことを要望していく。 それ以外のところで、しまなみ地域の住民さんにご負担をかけている通行料について、何らかの形で負担軽減を図っていきたいというところで、検討を進めている。
委 員	島しょ部の会社が今治市内の方を雇用したいと思ったときに、橋代で月 7 万円程度かかってしまう。例えばそういった費用も、実質無料化の場合、補填するなどの検討をしていただけるとありがたい。
委 員	島しょ部の経営者からすると、陸地部から来る従業員の負担軽減ということは課題である。どういったところまでターゲットにするのかしっかりと検討していただきたい。
地 域 振 興 課	貴重なご意見ありがとうございます。
委 員	要望ではあるが、今後の市役所建て替え、ネウボラ施設の建設などの構想があると思うので、MICE 単体で考えるのではなく、長期持続的に円滑な運営をしていけるように、グランドデザインを描く必要がある。
事 務 局	グランドデザインは大切である。11 月 30 日に中心市街地まちづくり市民会議を開催する。そこで中心市街地の現状の課題、まちづくりの方針、将来ビジョンなどを発表し、意見交換を行う。お時間がよければ、ぜひ皆様もご参加いただきたい。
委 員	グランドデザイン、中心市街地の再生をどうするかというのは別の会議があり、そちらの方でいろいろ審議している。ただ 20 億円の寄付などはまだ出ていなかったため、今後議論していくことになっていくと思う。
委 員	しまなみ海道の通行料について、島しょ部からの人口流出、移住定住の更なる促進に向けて、重要な施策である。これまでもあらゆる角度から調査検討を進めてきたと思うが、今後どういった調査を行い、どういった作戦で進めていくのか教えてほしい。
地 域 振 興 課	調査については令和 4 年度に実施したアンケート結果をもとに、庁内の各部局長 16 名で構成している実質無料化推進会議を立ち上げた。その会議を中心に、負担軽減と利用促進について、具体案を検討している段階である。

		まだ結論には至っていないため、現時点で皆さんにお示しできるものはない。
委 員		令和8年度からしまなみ高校が開校される中で、現行計画ではまだ分校扱いの記載になっているので、適宜修正していただきたい。
事 務 局		しまなみ高校が令和8年度開校ということで次期総合戦略に組み込んでいくことを検討している。
会 長		議事1の第2期今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略の所要の改訂については、事務局案のとおり進めることとする。 今後の予定は、12月を目途に現行計画の改訂及び公表を予定している。議事1については以上。 議事（2） 第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂について
こども未来課		【資料2】P22「子どもが真ん中のまちづくり」の【目的達成に向け実施する事業】「児童育成支援拠点事業」の追加について 説明
委 員		具体的にどのようなことをやっていくのか教えてほしい。
こども未来課		児童や保護者などの利用者の希望に応じて、市のネウボラ政策課の子ども家庭センターに相談して、支援計画を作成した上で、市から業務委託を受けた事業者が学習の支援、食事の提供、安全な居場所の提供、その他課外活動など学校と連携をとった事業をやっていく。
委 員		現在市内の各所でこども食堂を民間の方が開設しているが、連携も考えているのか。
こども未来課		実際に事業を委託している団体がこども食堂を実施している団体もいらっしゃるので、連携を取っていきたい。
委 員		ずっと不登校で中学校卒業時期になってもひきこもっている子が、担当の方とは話ができるからとこども食堂だけ出かける例もある。そこから保護司さんとも繋がっていくなど、とても大事な事業である。
委 員		実際に事業を実施している団体のため、補足する。令和6年度から、こど

		も家庭庁の新事業としてされているもので、今治市の中で陸地部 1 ヶ所、島しょ部に 1 ヶ所ということで設置していただいた。 子どもの支援に対して、児童館、放課後児童クラブ、子ども食堂との違いは、食事の提供と、あとはご家庭の支援の 2 本である。 その中で、居場所はただ待っているところではなく、子どもの繋がり、食を繋がりとして、そこから地域で支援をしていくためのソーシャルワークをやっていく、アウトリーチってところが一番これまでと違うところである。ご家庭の中だけで子育てを完結するのではなく、地域で子どもを育てていこうというところの地域版の居場所という役割と広義の意味でも考えていただきたい。 陸地部に住んでいるから陸地部の居場所が対象、島しょ部に住んでいるから島しょ部が対象ではなく、学校、地域もクロスしながら、子どもたち、家庭を支えていく事業である。
委 員		ネウボラの一環の新規事業だと考えるが、良い取り組みだと思う。
委 員		今治市社会福祉協議会も生活困窮者自立支援事業の中で、子どもの学習支援等事業を市から受託している。学校に行けない子どもたちの居場所、高校進学に向けた学習の支援などを実施。 地域の行事にも参加することもあるので、連携してやれることってあるのではないかなと思うので、情報交換などしながらやっていきたい。
会 長		地域交通について、意見はないか。
委 員		公共交通の現状は厳しく、行政の支援が求められているが、根本的な目的や解決すべき問題が欠けているように感じる。公共交通の整備は、高齢者のフレイル予防や交通安全、教育格差の是正など、多様な目的がある。そのためには、サービス導入後に効果を検証し、PDCA サイクルを回すことが重要。また、公共交通が高齢者だけのものというバイアスが強く、子どもたちの移動にも注目する必要がある。具体的には、愛媛県の地域公共交通計画のデータを見ると、高校生の送迎依存が増加しており、これは地域の人手不足とも関連してくる。これらの問題に対して、効果的な対策を講じることが求められていると感じる。
地 域 振 興 課		今年度に公共交通計画の改訂を行っており、委員の意見を踏まえた計画としていきたい。
委 員		mobi の利用状況や課題はどうなっているのか。

地 域 振 興 課	mobい は民営ではあるが、車両が2台で運行しており、月3,000人の利用があると聞いている。
委 員	バスについて、ステップが高いなど乗るのがしんどいから使えないという声も聞いている。高齢者や子どもを連れたお母さんなど、誰のためにどういった目的でという視点をもっておいてほしい。
地 域 振 興 課	おっしゃるとおり車両の買い替え時はノンステップバスにしていく必要はある。ただ1台数千万円の費用がかかるため、買い替えにはいたっていないと聞いている。
委 員	国立公園でもある小島だが、現在島民も少なくなり、耕作地が荒れ果て、イノシシ被害がすごいことになっている。把握しているのか。
事 務 局	イノシシ被害は、小島だけでなく、市内全域で発生している。様々な手段を講じてはいるが、増える量が多く、後手後手に回っている状況である。岡山理科大学に協力いただき、ドローンを使い、イノシシの生息地や集まる場所を調べることで、共存に向けて、囲い込み等も検討しているところ。
委 員	海外の旅行者の方が検索したときに、バス停の経路検索ができるなどGTFSを活用した仕組みづくりをしていく必要がある。
地 域 振 興 課	具体的には決まっていないが、導入の検討は行っている。
委 員	今後の病児保育、小児科が増えていくかなど目標や計画があれば教えてほしい。
保 育 幼 稚 園 課	病児保育施設としてキッズケア青い鳥と今年度から病後児保育施設としてもこもこの2ヶ所展開している。ただ病後児保育施設は認知度が低いいため、市でもアナウンスなど周知を行っていく。小児科医については、承知していない。
委 員	各部、各課で計画やビジョンを作成しているのか。それともこちらにまとめているのか。
事 務 局	法律に基づく計画や任意の計画など各部署において作成している。今年度、来年度にかけて総合計画を策定するので、策定後にそれぞれの計画も改訂作業が始まる。

委 員	今治駅や今治港から糸山のアクセスについて議論をしていたと思うが、進捗はあるのか。
地 域 振 興 課	具体的な進展はない。市内全域、全国的でもあるが、運転手不足の問題がある。現状を維持するためにどうすれば良いかを優先して考えている。
委 員	ヴィーガンの方なども増加しており、食のことを気にされる方も多い。今治市も国際都市となれば良いと思うが、外国人のニーズ調査などは行っているのか。
事 務 局	本市には外国人の方も多く住まれている。ただ実態調査などはできていないのが現状ではあるが、必要性は感じている。
委 員	先日開催したバリチャレンジユニバーシティで外国人労働者の方にかに楽しんでもらえるのかということにスポットを当てて、インタビューなどを実施し、様々なニーズがあることがわかった。今後我々も色々なことをやっていき、外国人労働者の方が今治市ですっと働きたいと思ってもらえるように貢献していきたい。
会 長	議事2の第4次今治市定住自立圏共生ビジョンの所要の改訂については、事務局案のとおり進めることとする。 改訂の確定版が完成後、各委員にお送りする。議事2については以上。 議事（3） 次期今治市総合戦略の策定について
事 務 局	【資料3】次期今治市総合戦略の策定について 説明
委 員	現在のメンバーは解散するのか。
事 務 局	解散はしない、来年度も継続してお願いする。
委 員	本市の外国人の割合は2%以上を占めており、多文化共生を目指すにはこういった会議に外国人目線で話せる委員を呼ぶのも必要ではないか。またインバウンドや現在住んでいる外国人に対して、どうしていくのか考えていただき、人やお金もしっかりとつけてやっていってほしい。
事 務 局	委員に関しては、条例で定員が20名となっているため、追加はできない。

		オブザーバー等でご参加いただき、ご意見を伺うことについて検討の余地はある。
委	員	今治市が他の自治体に勝つためには差別化が必要。外国人が多くいる本市において、外国人の意見を聞いて何かするという事は早くやるべきであり、賛成する。
委	員	外国人の方の委員やオブザーバーについては言語の問題などで難しいかもしれない。造船業やタオル産業においては実習生の受入組合があり、そちらの方であつたら、多くの外国人との触れ合いもあり、議論も可能ではないか。また外国人と一括りとなっているが、造船業でいえば東南アジアに移りつつあり、インバウンドとは違うかもしれないが、どこかの国・地域に特化するのもありなのではないかと思う。
委	員	地域おこし協力隊について、来年度予算も増えて、30人程度を想定している。細かいテーマ設定をされているが、こういったプロセスで行われているのか。
地 域 振 興 課		テーマ設定については、各課にどういった方が必要か挙げていただき、そちらを精査し、募集をかけている。
委	員	今治市の地域おこし協力隊の定住率は他の自治体と比較するとどういった状況なのか。
地 域 振 興 課		定住率は令和5年度で78.4%であり、全国平均の65%を大きく上回っている。
会	長	ありがとうございます。他に何かご意見はないか。
委	員	海岸清掃、藻場づくり、稚魚の放流や「海のまち」ということでブランド化を進めてくださり、ありがたい。
委	員	鳥獣害については、行政とJAで協力して対策を講じているが、課題も多い。荒らさない、餌があることを認識させないのが大事。 また支援をいただいているが、段々と農業者は減っている。
委	員	人材面について、介護分野はどうなっているのか。

委	員	介護現場の人材不足はかなり進行している。魅力発信セミナーを開催したが、今後は小中学生の時から、関心を持ってもらえるように発信していかなければいけないと感じている。
委	員	看護師の人材不足もかなり進行している。ドクターはいるけど、看護師がいないことで救急体制が保てなくなる可能性も。医療体制を守るためには、オール今治で取り組まなければならない。
会	長	ありがとうございます。次回に向けて、参考になる意見が多々あったと思うので、事務局は意見を踏まえて、検討するようにお願いしたい。